

うめのみ

学校教育は、児童の健やかな成長のために、学校の教職員のみならず、多様な専門性をもった関連機関や、地域、保護者の皆様の参画で行っている部分も多々あります。今回はその紹介をします。

「校区安全対策協議会」

12月2日（金）に第2回「校区安全対策協議会」を行いました。これは、太宰府小校区14の自治会会長様、主任児童委員・民生委員の皆様、PTA本部役員・地区委員の皆様と学校の代表者が、児童の登下校における安全面や地域での過ごし方について話し合ったり情報交換をしたりする会議であり、今回も50名以上の方にお集まりいただきました。

はじめに全体会で、以下のような報告を行いました。

- ・朝の児童の登下校の見守りにおいて、これまで地域のボランティアの方に委ねる部分が大きかった旗当番を、その方々の高齢化に伴い、今後保護者へシフトしていく、その方法を検討していること（PTA）
 - ・地域より挙げられた通学路の危険箇所を、市へ改善を要望したことについての報告。（学校）
 - ・多くの児童が通る浦の城橋（四王寺登山道入り口）付近の正しい通り方やミラーの見方についてビデオ放送で児童に指導したこと。※このミラーは、連歌屋区自治会会長様の働きかけで、子どもに見えるように低く設置してあります。（学校）
 - ・通学路の危険箇所について、空き家の現状についての説明。（地域）
- 後半は、地区ごとに分かれて、地区での道路事情や危険箇所、地区行事への参加等についての話し合いを行いました。

この会を通して毎回感じるのは、児童は、「地域の方々に守られ大事にされている。」ということです。学校では、児童に、そのことや感謝の気持ちをこめたあいさつで返すことを伝えたいです。



地区ごとの話し合いの様子

地域の方による丸付けボランティア

太宰府小学校には、地域と学校をつなぐ役割で学校教育に参画していただいている地域コーディネーターとして、松本正美さん、松下千恵子さんの2名がいらっしゃいます。2名が自ら、また地域の方を集めて、現在各学年毎に実施している復習タイムで、児童の課題の丸付けをしていただいています。児童は、ていねいに採点してもらい、解いた問題が正解かどうかをすぐに確認して、誤りを正したりほめてもらって喜んだりして学習しています。地域の方に、児童の学びの定着に一役かっ



お詫びと訂正

先月号で、来年度の「太宰府小学校創立150周年行事」についてお知らせしていましたが、記念式典の期日が間違っていました。お詫びをし、訂正をさせていただきます。申し訳ございませんでした。

（誤） 令和5年11月9日（土） → （正） 令和5年12月9日（土）